

REVIVE™

リカバリーケア リヴァイブ M2

機械器具 77 バイブレーター
家庭用エアマッサージ器 (34663000)
管理医療機器

添付文書
ユーザーマニュアル



日本国内正規販売代理店

ミュラージャパン株式会社
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 74-1 大和地所ビル
www.muellerjapan.com

目次



1. 安全性に関する重要な情報.....	1
2. リカバリーケア リヴァイブの仕様と寸法.....	4
3. ラベル.....	5
4. 使用目的.....	7
5. リカバリーケア リヴァイブについて.....	7
6. リカバリーケア リヴァイブシステムの構成品.....	8
7. リカバリーケア リヴァイブシステムの操作方法.....	10
8. メンテナンスと保管.....	19
9. トラブルシューティング.....	21
10. 保証と連絡先.....	22
11. EMC に関する製造者による宣言.....	24

1. 安全性に関する重要な情報






最初にリカバリーケア リヴァイブシステムを使用する前に、すべての説明をお読みください。

お使いになる方や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使いかたをしたときに生じる危険や被害の程度を区分し、説明しています。

 警告	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う恐れがある内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、障害を負う恐れや物的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	禁止		電源プラグを抜く
	必ず守る		分解禁止
	風呂、シャワー室での使用禁止		

警告



- 本製品は健康状態の良い方への使用を想定しています。深部静脈血栓症、静脈炎と診断された人、医師からマッサージを禁じられている人（例 血栓（塞栓）症、重度の動脈りゅう（瘤）、急性静脈りゅう（瘤）、各種皮膚炎、皮膚感染症（皮下組織の炎症を含む。））への使用しないでください。
- 妊娠初期の不安定期、または出産直後の人は、使用前に担当医に相談してください。
※妊娠中または妊娠している可能性がある人の臀部腰用ガーメントは使用しないでください。
- ペースメーカー、植込み型除細動装置などの電磁障害の影響の受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用されている人には使用しないでください。
- ふくらはぎに原因不明の痛みがある場合は、使用前に医師に相談してください。
- 施療部位に装身具をつけて使用しないでください。
- 頸部（首）へ使用しないでください。
- 使い始めは、弱い刺激でマッサージしてください。
- コンソール本体には、リカバリーケア リヴァイブ用ガーメント以外を使用しないでください。
- 付属の AC 電源アダプタ（品番:KASAP0361200300D5）以外使用しないでください。
- 本製品はリチウムイオン充電電池を内蔵しております。発熱、破裂、発火の原因になりますので次のようなことは絶対にしないでください。
 - 加熱や火中投下
 - 高温環境でのご使用、充電、放置
 - こたつや布団の中に入れてのご使用、充電
 - 毛布などを被せてのご使用、充電
 - 直射日光が当たる場所や炎天下の車内など高温になる場所でのご使用、充電

安全性に関する警告と使用上の注意

 **警告**

- **爆発の危険**：可燃性麻酔薬などの可燃性ガスが存在する環境及び高濃度酸素雰囲気内でリカバリーケア リヴァイブシステムを使用しないでください。高圧酸素室内では絶対に使用しないでください。
- **感電の危険**：リカバリーケア リヴァイブコンソールのいかなる部分にも液体が入らないようにしてください。液体に浸さないでください。洗浄は、第8項「メンテナンスと保管」の説明に従って実施してください。
- **感電の危険**：感電防止のため、コンソールを開けないでください。コンソールの修理を試みないでください。すべてのメンテナンス作業は、訓練を受けた正規のサービス担当者のみが実施するようにしてください。権限が与えられていない者が修理を行うと保証が無効となります。
- 強い電磁波を発生する医療機器の近傍でリカバリーケア リヴァイブシステムを配置しないでください。
- リカバリーケア リヴァイブシステムの性能に何らかの変化がみられた場合は使用を中止してください。
- 緊急時にはガーメントホースコネクタをコンソールから取り外し、使用を中止してください。
- 本品を他の機器の近くで使用したり、他の機器と積み重ねて使用したりすることは避けて下さい。このような使用が必要な場合は、本品を観察し、正常に動作することを確認してください。
- リカバリーケア リヴァイブシステムには、子どもの窒息の原因となる可能性がある小型の部品が含まれています。子どもに使わせたり、遊ばせたり、のせたりしないように、子どもやペットの手が届く場所に置かないでください。



- 浴室などの湿度の高いところでは使用しないでください。



- リカバリーケア リヴァイブシステムのいかなる部品も改造しないでください。

 **注意**

- 自動車など運転中にリカバリーケア リヴァイブシステムを使用しないでください。
- 規定の温度、湿度、気圧の範囲外でリカバリーケア リヴァイブシステムの保管又は輸送を行わないでください（第8章「メンテナンスと保管」参照）。
- 規定の温度範囲 [10～30°C (50～86°F)] 外でリカバリーケア リヴァイブシステムを使用しないでください。
- 規定の湿度範囲（相対湿度 30%～75%、結露しないこと）外でリカバリーケア リヴァイブシステムを使用しないでください。
- リカバリーケア リヴァイブシステムは標高 3,000m 以下で使用してください。
- リカバリーケア リヴァイブシステムの破損を防ぐため、埃、糸くず、汚物が付かないよう

にしてください。熱や湿気の発生源に近づけないでください。

- 目的の身体部位に装着せずにガーメントを膨張させないでください。内腔が空の状態ガーメントを膨張させないでください。ガーメントが破損するおそれがあります。
- 本ユーザーマニュアルに記載されている製品以外は使用しないでください。他の機器には使用しないでください。
- 使用中、コンソールを安定した水平面上に置いてください。コンソールをベッド、毛布、マットレス、枕又は柔らかい家具の上に置かないでください。コンソールを覆わないでください。
- 携帯用、モバイル型の高周波（RF）通信機器は、本品に影響を及ぼす可能性があります。




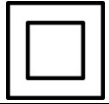





- 医師の治療を受けているときや下記の人には必ず医師と相談のうえ使用してください。
 - ペースメーカーなどの電磁障害の受けやすい体内植込型医用電子機器を使用している人
 - 悪性腫瘍のある人
 - 心臓に障害のある人
 - 糖尿病などによる高度な末しょう（梢）循環障害からくる知覚障害のある人
 - 皮膚に創傷のある人
 - 妊娠初期の不安定期、または出産直後の人
 - 安静を必要とする人
 - 体温 38℃以上（有熱期）の人 例 1 急性炎症症状 [けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動 など] の強い時期にある人 例 2 衰弱している人
 - 骨粗しょう（鬆）症の人、脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性 [とう（疼）痛性] 疾患の人
 - 背骨（脊椎）に異常のある人又は背骨が左右に曲がっている人（背中を治療する機器に限る。）
 - 温度感覚喪失が認められる人
 - けんしょう（腱鞘）炎の人
 - その他、医療機関で治療中の人
- マッサージ中又はマッサージ後に、痛みや不快感がある場合又は挫傷や刺激が生じた場合は、使用を中止して医師に相談してください。また、しばらく使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。
- 全てのコードは容易に離脱しないよう、正しく確実に接続してください。
- コード類を取り外す際には、コードを持って引き抜くなどしてコードの接続部に無理な力を加えないようにしてください。
- 使用前に圧力調節ノブ（つまみ）、スイッチ、タイマなどが正常に作動するか確認してください。
- しばらく使用しなかった機器を使用するときは、圧力調節ノブ（つまみ）、スイッチ、タイマなどが正常に作動するか確認するほか、機器が正常に、かつ、安全に作動することを確認してください。
- 電源を切る際には、圧力調節ノブ（つまみ）、スイッチなどを元の位置に戻した状態で電源を切ってください。
- 他の治療器と同時に使用しないでください。
- 機器に故障が発見された場合、使用を直ちに中止して、電源を切ってください。
- 停電の際には直ちにコンソール本体の電源を切り、AC 電源アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本製品は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用することを意図していません。
- 本体、付属品などは、次回の使用に支障のないように清浄にし、湿気の少ないところに整理、保管してください。
- 機器が故障した場合は、勝手に修理せず、販売店または製造販売元に連絡してください。
- 定められた使用時間を超えて使用しないでください。






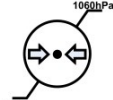
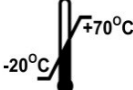







2. リカバリーケア リヴァイブの仕様と寸法

リカバリーケア リヴァイブ本体 電気定格：AC100V、50/60Hz 定格消費電力：36W 本体定格：12V 〓(DC)、23W リチウムイオン電池：11.1V 〓(DC)、3,800mAh	
電撃に対する保護の形式	クラスⅡ機器 内部電源機器
水の侵入に対する保護の程度	IP21
動作モード	連続
マッサージ持続時間	10分、15分、20分、25分、30分
環境条件	通常：10～30℃、相対湿度 30～75%、 700～1060 hPa
圧力範囲	20～100 mmHg
寸法	21 cm × 20 cm × 9 cm
重量	1.0 kg

3. ラベル

以下のラベルと記号がコンソール、ゲーメント、パッケージに表示されています。

ラベル	説明	表示場所
	使用前に説明を読むこと	ゲーメントのラベル
	二重絶縁	AC 電源アダプタ
	製造業者	ゲーメントのラベル
	製造日	コンソール底部
	機器固有識別 (UDI)	コンソール底部及びパッケージ, ゲーメントバッグ及びパッケージ
	CE マーク： 特定電圧限度内で使用する設計の電気機器に関する指令 2014/35/EU 及び電磁両立性に関する指令 2014/30/EU に準拠	コンソール
	コンソールの製造番号	コンソール側部
	直流 (DC)	コンソール底部

ラベル	説明	表示場所
	壊れ物につき取扱注意	パッケージ
	水濡れ厳禁	パッケージとコンソール 底部
	天地無用	パッケージ
	直射日光厳禁	パッケージ
	輸送・保管時の湿度制限	パッケージ
	輸送・保管時の気圧制限	パッケージ
	輸送・保管時の温度制限	パッケージ
	「オン」(電源)	電源スイッチ
	「オフ」(電源)	電源スイッチ
	洗濯禁止	ゲームントのタグ
	ドライクリーニング禁止	ゲームントのタグ
	タンブラ乾燥禁止	ゲームントのタグ
	塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止	ゲームントのタグ
	アイロン禁止	ゲームントのタグ

4. 使用目的

あんま、マッサージの代用。一般家庭で使用する。こと。

5. リカバリーケア リヴァイブについて

リカバリーケア リヴァイブは、健康状態の良い方への使用を想定したマッサージシステムです。

リカバリーケア リヴァイブでは、可膨張性ガーメントの空気の充填と収縮によって組織を揉みほぐします。

上記のように、リカバリーケア リヴァイブは、空気の充填と収縮を行う可膨張性ガーメントによって徒手マッサージの揉み・さすり動作を再現し、一定方向への圧迫と解放を繰り返すマッサージを行います。このようなマッサージ動作は、ガーメントが装着された部位の血行を一時的に促進するとともに、疲労や過労に起因する筋肉痛を一時的に緩和します。

リカバリーケア リヴァイブのマッサージサイクル

リカバリーケア リヴァイブコンソールは、室内環境から空気を取り込み、ガーメントホースを通してガーメント内部の各空気室内（チャンバー）へと送出します。

次に、コンソールによってガーメントから空気が抜かれ、一時停止した後にマッサージサイクルが繰り返されます。

リカバリーケア リヴァイブガーメント内部の各空気室は重なり合っていて、滑らかなマッサージが中断なく得られるよう特別に設計されています。リカバリーケア リヴァイブコンソールは 1 枚又は 2 枚（脚用ガーメントのみ）のガーメントを同時に稼働することができます。

リカバリーケア リヴァイブによるマッサージサイクルは、四肢（脚、腕）の末端側から始まり、体幹側に向かって段階的に進むことで、終了します（図 1 参照）。

お好みの圧力レベルに調節することが可能です。

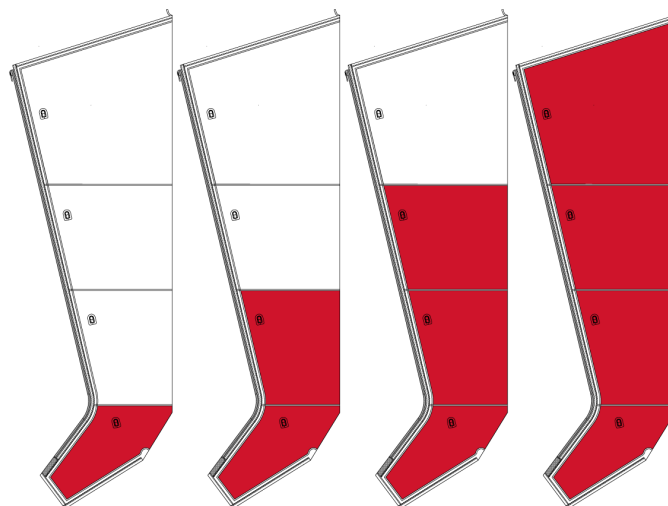


図 1 - マッサージの順序

作動原理

コンソールに取り込まれた空気は、ガーメントのホースを通じてガーメント内部の空気室内（チャンバー）に送られます。ガーメントはこの空気により膨張して使用者の腕、脚、臀部及び腰を加圧します。一定時間加圧をした後、ガーメント内部のチャンバーを減圧することでガーメントが弛緩して加圧が休止する

6. リカバリーケア リヴァイブシステムの構成品

リカバリーケア リヴァイブコンソール

(図 2 参照)

コンソールは、室内環境から空気を取り込み、ガーメントホースを通してガーメント内部の各空気室内（チャンバー）に送ります。

リカバリーケア リヴァイブコンソールは、AC 電源アダプタ又はコンソールに内蔵されている充電電池から電源を取ります。充電電池は、AC 電源アダプタを介してコンソールが通常稼働している間のみ充電できます。



注：

- 電池の充電を行うにはコンソール本体の電源スイッチをオンにします。
- 充電を行っていないとき又はコンソールを使用していないときは、電池を節約するために電源スイッチをオフにします。

電池状態インジケータに表示される電池の電力容量を下表に示します。

電池状態	表示アイコン	バッテリー残量
	常時点灯バー	100%
	常時点灯バー	75%
	常時点灯バー	50%
	常時点灯バー	25%
	点滅バー	ほぼ残量ゼロ
	バー非表示	残量ゼロ

プラグプラグ（片側用ストッパー）

(図 3 参照)

ガーメントを1枚のみ使用する場合、リカバリーケア リヴァイブコンソール前面にある使用していないアウトレット（空気吹出し口）に、このプラグプラグを差し込み、空気漏れを防止します。

AC 電源アダプタ

(図 4 参照)

AC 電源アダプタは、100 - 240 V (50/60 Hz) の交流電力を 12 V、3 A の直流電力に変換してコンソールに供給します。



注意：

- 直射日光があたる場所や、炎天下の車内など高温になる場所での充電や使用しないでください。
- コンソールに付属の AC 電源アダプタ以外は使用しないでください。

電池パック（リチウムイオン充電電池）

（図 5 参照）

- コンソールは、フル充電した電池で最長 8 時間稼働できます。
- 電池は、コンソールの通常稼働時に充電できます。
- 電池の充電時間は最長 8 時間です。
- 電池の予想耐用年数は 2 年です。
- 2 年目以降は、充電電池の交換が推奨されます。



図 2 - リカバリーケア リヴァイブ
M2 コンソール

図 3 - プロング
プラグ

図 4 - AC 電源アダプタ

図 5 - 電池パック

リカバリーケア リヴァイブ用ガーメント

（図 6、図 7、図 8、図 9 参照）

各種ガーメントが使用できます。脚用ガーメントであるフルレックブーツには複数のサイズがあります。



図 6 - リヴァイブ フルレックブーツ
脚用ガーメント（ロング）

図 7 - リヴァイブ アームスリーブ
腕用ガーメント



図 8 - リヴァイブ カフブーツ
脚用ガーメント（ショート）

図 9 - リヴァイブ コアショーツ
臀部腰用ガーメント

リカバリーケア リヴァイブシステムの操作方法

リカバリーケア リヴァイブコンソール M2 の操作パネルと各種コントロールを以下に説明します（図 10 参照）。最初にコンソールを使用する前に本項をお読みください。



図 10 - リカバリーケア リヴァイブコンソール M2 の操作パネル

コンソールのコントロール

表 1 - コンソールのコントロール

コントロール	機能
	<p>タイマー設定ボタン：マッサージタイマーの時間設定に使用します。 （10分、15分、20分、25分、30分）</p> <p>タイムインジケータ：設定されたタイマー時間を表示します。 （10分、15分、20分、25分、30分）</p>
	<p>開始/停止ボタン：マッサージの開始又は停止に使用します。 ※タイマー設定時間をリセットせずに、このボタンを3秒間押し続けることで、一時停止できます。再度押すとマッサージが再開されます。</p>
	<p>バッテリー残量：バッテリー残量を表示します。</p>
	<p>状態インジケータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 白色 - 電源はオン。マッサージは開始されていません。 緑色 - マッサージ中 橙色 - エラー表示。誤動作を示します（第9項「トラブルシューティング」参照）。
	<p>圧力調節ノブ：マッサージ圧（20～100 mmHg）の設定に使用します。 ※設定後、圧力つまみはロックされます。</p>
	<p>電源スイッチ：コンソール電源のオン/オフ切替えに使用します。 （位置はコンソール背面左側：ハンドル左下）</p>
	<p>AC アダプタ用ソケット：AC 電源アダプタの接続に使用します。 （位置はコンソール背面右側：ハンドル右下）</p>

手順 1：リカバリーケア リヴァイブコンソール M2 のセットアップ及び充電

**注意：**

使用するまでの間に-20℃（-4°F）又は 70℃（158°F）といった極端な温度条件下で本品を保管していた場合は、2時間待ってから使用してください。

- 位置ずれや落下のおそれがない安定した平面上にコンソールを置いてください。コンソール前面が平面の端から約 15cm 以上離れていることを確認してください。
- マッサージ中にすぐ手が届くようにコンソールを配置する。
- 日本国内向け形状の 2 ピンプラグを、AC 電源アダプタ背面のピンに差し込んでください（下図参照）。



プラグを交換するには、プラグ下の **Open（開）** ボタンを押しながらプラグを抜き取ります（下図参照）。



- AC 電源アダプタケーブルを AC アダプタ用ソケット（位置はコンソール背面右側）に接続します。奥までしっかり差し込んでください。
- AC アダプタを家庭用コンセント電源プラグを根本までしっかりと差し込みます。
※本体の電源スイッチをオンにすると充電が開始されます。携帯用に充電のみ使用する際には、電池状態インジケータを確認します。充電が完了したら、AC アダプタをコンセントと本体の両方から外してください。

**注：**

日本国内向け形状の 2 ピンプラグを使用してください。

手順 2：マッサージの準備

- ガーメントは衛生上の理由のため、直接肌に装着せず、刺激を防ぐとともに汗を吸収しやすい薄手の衣服の上に装着してください。
- ガーメントの下に装着する衣服は、身体を拘束せず、ファスナ、ボタンなどマッサージ中に擦れや摩擦が生じる可能性があるものが付いていないことを確認してください。
- 脚用ガーメントである、フルレッグブーツ／カフブーツや臀部腰用ガーメントであるコアショーツの下にはスエットパンツやレギンスなどの綿製の衣服及び綿の靴下を着用し、腕用ガーメントであるリカバリーアームの下には長袖 T シャツを着用することが推奨されます。
- マッサージを行う部位の宝飾品や腕時計などは外してください。

手順 3：ガーメントの装着



注意：

- ガーメントが破損するおそれがあるため、目的の身体部位に装着せずに（内腔が空の状態）又はファスナを開いたままガーメントを膨張させないでください。
- ガーメントのストラップに無理な力を加えないでください。また用途以外の目的でストラップを使用しないでください。※無理な力を加えたり、誤用した際の保証は無効となります。

脚用ガーメント：フルレッグブーツとカフブーツ

- a. 脚を挿入する前に、少なくとも途中まではファスナを上げてガーメントを閉じます。
- b. ガーメントに脚を入れます（図 11 参照）。ガーメントの最上部を体幹側に引き、ガーメントが最大の長さになるように、たわみをなくします。
- c. ファスナを完全に閉めます。
- d. 必要に応じて、両側行う際には、反対側の脚でも上記の手順を繰り返します。

フルレッグブーツとカフブーツのガーメントは左右のどちらの脚にもフィットするように設計されています。



注意：

- ガーメントを装着したまま立ったり歩いたりしないでください。ガーメントの装着は坐位で行い、マッサージ終了後、立ち上がる前に取り外してください。



図 11 - フルレッグブーツとカフブーツの装着

腕用ガーメント：アームスリーブ

- a. マッサージする側の腕をガーメントに挿入します。
- b. ガーメントが肩まで覆われるようにガーメントを引き上げます。
- c. 締付け用のストラップを、反対側の脇の下に通して身体に巻き付けます。
最後に、ストラップを締め、快適にフィットするようにバックルを調整します。

アームスリーブのガーメントは左右のどちらの腕にもフィットするように設計されています。



注意：

腕用ガーメントを使用する場合は片腕のみとなっています。

両腕を同時に取り付けて使用しないでください。

ガーメントを装着したまま立ったり歩いたりしないでください。

ガーメントの装着は坐位で行い、マッサージ終了後、立ち上がる前に取り外してください。

臀部腰用ガーメント：コアショーツ

このガーメントにて体幹領域（股関節部、臀部、腰部）のマッサージを行います。リクライニング又は仰臥位（仰向けで寝た姿勢）で使用します。楽な体勢を取るため、膝や足首の下に枕を使用することが推奨されます。

- a. ベッド、幅が広い長椅子又はリクライニングチェアで坐位、半坐位又は臥位となってコアショーツを装着します。
- b. コアショーツには各側に3本のファスナが付いています。
快適なフィット感が得られるようにファスナを使用して、ガーメントはきつくない程度にフィットしていること確認し、各側をファスナを閉めます。
- c. コアショーツが小さすぎる場合は、ガーメントの各側のファスナ間にエキスパンダを挟んでファスナを閉じます。

エキスパンダには左右があります。右側用は右脚のみにフィットし、左側用は左脚のみにフィットするようにデザインされています。

- d. コンソールの電源をオンにする前に、コアショーツの各ファスナが完全に閉じられていることを再確認します。
- e. 上臀部／腰部と空気室の接触面積を大きくしたい場合は、ショルダストラップを使用します。ショルダストラップをそれぞれ両肩に掛けて前側で固定します。



注意：

- 妊娠中はコアショーツを使用しないでください。
- コアショーツは立位での使用は想定されていません。
リクライニング又は仰臥位（仰向けで横になった姿勢）で使用してください。
- ガーメントを装着した状態で、立ち上がったり、歩いたりしないでください。
ガーメントの装着は、体幹領域をマッサージするために、坐位、半坐位又は臥位で適切な位置まで装着し、マッサージ終了後、立ち上がる前に取り外してください。

すべてのガーメント

ガーメントを膨張させる前に、ファスナを閉じてガーメント内に指を 3 本入れ、ガーメントが過度に窮屈でないことを確認してください。

ガーメントが過度に窮屈である場合は、より大きなサイズが必要です。購入した販売店に問い合わせてください。

電源スイッチをオンにする前に、ガーメントのファスナが完全に閉じていることを確認し、マッサージ中は常に閉じた状態にしてください。

マッサージ終了後、ガーメントは速やかに収縮し、簡単に取り外せるようになります。着脱する際に、毎回ガーメントのファスナを完全に下ろさなくても、ガーメントの取外しと再装着ができるようになっています。



注：

リハビリケア リヴァイブコンソールには、リヴァイブ用ガーメント以外を使用しないでください。

手順 4：コンソールへのガーメントホースコネクタの接続

**注：**

片手でコンソールのハンドルを持ちながら、もう一方の手でガーメントのホースコネクタを接続又は接続解除を行ってください。

- ガーメントホースのホースコネクタのロゴを上向きにして、コンソールのアウトレット（空気吹出し口）にしっかりと接続します（図 12 参照）。
- ガーメントのケア リヴァイブホースが曲がったり、ねじれたり、何かに挟まれたりしていないことを確認してください。



図 12 - コンソールへのガーメントホースコネクタの接続

**注：**

腕用ガーメントのリカバリーアーム、脚用ガーメントのフルレックブーツ／カフブーツの片側のみ使用する場合は、空気漏れを防ぐために使用しないアウトレット（空気吹出し口）にプロングプラグ（図 13 参照）で栓をすること。プロングプラグを挿入しなかった場合、コンソールは動作を停止し、警告ビープ音が鳴ります。



プロングプラグを使用しないアウトレットに挿入します。



図 13 - 片側ガーメント使用時における、使用しないアウトレットへのプロングプラグの挿入

手順 5：マッサージ圧とタイマーの設定

- a. 圧力調整ノブを押したまま、目的の圧力に設定します。圧力が設定されると、圧力調整ノブがロックされます。
- b. タイマー設定ボタンを押してマッサージ時間を設定します。



注：

- 最小設定圧力は 20 mmHg。
最大設定圧力は 100 mmHg。
- 最短タイマー設定マッサージ時間は 10 分。
最長タイマー設定マッサージ時間は 30 分。

圧力選択の目安

圧力レベルを変更すると、各空気室を膨張させる空気が増加し、マッサージの強度が変更されます。

圧力設定を下げると弱いマッサージが行われ、圧力設定を上げると高強度のマッサージが行われます（圧力設定の目安として表 2 を参照）。

マッサージが強すぎる場合は、圧力を下げてください。

表 2 - アームスリーブ、フルレッグブーツ/カフブーツの圧力設定

マッサージ強度	圧力設定 (mmHg)
弱	20 ~ 30mmHg
中	40 ~ 60mmHg
強	70 ~ 100mmHg

手順 6：ホールド時間の選択

拡張サイクルの終了時に、コンソールは数秒間空気圧を保持した後に空気を解放し、一時停止してから次のサイクルを続行します（ホールド時間）。

ホールド時間を設定することで、快適なマッサージのペースに変更できます（表 3 参照）。

表 3 - ホールド時間の設定

保持時間	操作	警告ビープ音
短： 0 秒	タイマー設定ボタンを 3 秒間長押しする。	1 回
中： 5 秒	タイマー設定ボタンをさらに 3 秒間（6 秒間）長押しする。	2 回
長： 10 秒	タイマー設定ボタンをさらに 3 秒間（9 秒間）長押しする。	3 回

手順 7：マッサージの開始

この時点でコンソールが使用可能となり、マッサージを開始できます。

**注：**

片手でコンソールのハンドルを持ちながら、もう片方の手で**電源スイッチのオン/オフ**を切り替えてください。

- a. ガーメントホースコネクタがコンソールにしっかりと取り付けられていることを確認します。
- b. コンソール背面の**電源スイッチがオフ**であることを確認します。
- c. AC 電源アダプタケーブルを AC アダプタ用ソケット（位置はコンソール背面右側）に接続します。
- d. AC アダプタを家庭用コンセントに差し込みます。
- e. コンソールのコントロール部に容易に手が届き、楽な坐位、リクライニング又は臥位をとります。
- f. 手順 3「ガーメントの装着」に従ってガーメントを装着します。
- g. **電源スイッチをオン**にします。
- h. **開始/停止ボタン**を押します。
マッサージが開始されます。

**注：**

マッサージ開始時には、完全に空気が抜けた状態から充填しなければならないため、ガーメントが完全に充填されるまでに数回の膨張サイクルを要することがあります。

- i. マッサージの感覚に慣れるため、数サイクル間は待機します。
特に両側 2 枚のガーメントを使用する場合は、最初の膨張サイクルでは充填に通常より長い時間を要する場合があります。

マッサージ中に時間、圧力、ホールド時間を調整できます。

運動前にリカバリーケア リヴァイブを使用してマッサージを行うことで、血行が促進され、素早くトレーニングに入ることができます。

トレーニング前の推奨マッサージ時間は 15～30 分です。

また、リカバリーケア リヴァイブを使用して 1 日の終わりや運動後にマッサージを行い、筋肉のこりをほぐして、血行を促進し、疲れをとることができます。

通常、トレーニング後又は 1 日の最後に推奨されるリカバリーケア リヴァイブの使用時間は 30～45 分です。

**注意：**

マッサージの感覚は心地良い状態であることが望ましいです。

マッサージ中又はマッサージ後に、痛みや不快感がある場合又は挫傷や刺激が生じた場合は、使用を中止して医師に相談してください。

手順 8：マッサージの終了、停止、再始動、一時停止、再開

マッサージ時間が終了するとマッサージが停止します。

- マッサージを随時停止するには、**開始/停止ボタン**を押します。
- 時間をリセットせずにマッサージを一時停止するには、**開始/停止ボタン**を 3 秒長押しします。
- マッサージを再開するには、もう一度**開始/停止ボタン**を押します。（表 4 参照）

表 4 - マッサージの停止、再スタート、一時停止、再開

マッサージ動作	操作
停止 設定時間の最初から再スタート	開始/停止ボタン を押す。 もう一度 開始/停止ボタン を押す。
一時停止 時間をリセットせずに再開	開始/停止ボタン を 3 秒間押す。 もう一度 開始/停止ボタン を押す。

- マッサージ終了時に、本体の**電源スイッチ**を**オフ**にします。
- ガーメントが収縮して取り外せるようになるまでの待機時間は最長で 30 秒です。
- AC アダプタを家庭用コンセントとコンソール本体の両方から外してください。
- コンソールのアウトレット（空気吹出し口）から各ガーメントホースコネクタを取り外します。
※ガーメント着脱する際にはファスナを完全に下ろさなくても、ガーメントの取り外しと再装着ができるようになっていますが、ファスナを完全に閉じた状態で保管します。

**注：**

ガーメントを直ちに収縮させる必要がある場合は、ガーメントホースコネクタをコンソールから取り外すことで、ガーメント内の空気圧を即時に下げることができます。

8. メンテナンスと保管

コンソールのお手入れ

**注意：**

お手入れを行う前に、コンソールに接続されている AC 電源アダプタをコンセントから必ず抜いてください。
コンセントに再接続する前に、コンソールを完全に乾燥させてください。

- 軽く湿らせた布で汚れを拭いてください。
- コンソール内に湿気や液体が入らないようにしてください。

ガーメントのお手入れ

- a. いかなる場合も、ガーメントを液体に浸さないでください。ガーメントのお手入れは表面を拭くだけにしてください。
- b. 柔らかい布、40°C（100°F）以下の温水、中性洗剤を使用し、ガーメントの内面と外面を軽く拭きます。
 - ◆ 液体に浸さないこと。
 - ◆ ガーメントのコネクタ（空気吸入口）に液体が入らないようにする。
- c. 残った洗剤を除去するため、ガーメントの空気吸入口に水が入らないよう注意しながら清浄な水を含ませた布で拭き取ります。
- d. 柔らかいタオルのみを使用して乾拭きします。
- e. 乾燥後は、70%アルコール又は布製品に安全に使用できる適切なアルコールベースの消毒剤（製造者の推奨事項に従う）を用いてガーメントの外面と内面を拭くことが推奨されます。アルコールベースの洗浄剤を使用するときは換気が良い場所で作業してください。
- f. 使用前に、ガーメントを完全に空気乾燥させます。

ガーメントのお手入れ時には手袋を装着し、お手入れ後には手を洗ってください。

あらゆる布製ガーメントと同様に、時間の経過に伴って印刷や布地の退色がある程度生じることがありますが、ガーメントの性能に影響はありません。退色を防ぐためには、直射日光を避けて保管し、印刷箇所を擦らないようにするとともに、過量のアルコールがガーメント表面に直接こぼれ落ちないようにしてください。

コンソール又はガーメントのお手入れについて質問がある場合は、販売代理店にお問い合わせください。

**注意：**

- 手洗い又は機械による洗濯を行わず、表面の垢（あか）や汚れ取りのみとしてください。
- ガーメントのコネクタ（空気吸入口）に液体が入らないようにしてください。
- 漂白剤を使用しないでください。
- ドライクリーニングを行わないでください。
- 絞り、アイロンがけ、タンブラ乾燥又は強制熱乾燥を行わないでください。

保管

- a. コンソール、ゲーメントホース、ゲーメントは直射日光を避けて保管してください。
- b. 温度や湿度がたかくなならない場所で保管してください（以下の「注意」参照）。
- c. ゲーメントホースをねじったり、折り曲げたりしないでください。
- d. AC 電源アダプタの電源ケーブルをねじれたままで収納しないでください。
- e. 保管する際にゲーメントを無理に折りたたまないでください。

廃棄

コンソール、ゲーメントホース、ゲーメントを廃棄する際は、環境要因を考慮し、国内の規制（お住いの自治体ルール）に従って廃棄してください。

リチウムイオン充電電池の廃棄

本製品に使用しているリチウムイオン充電電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品を廃棄する際は、リチウムイオン充電電池を取り出し、お近くの小形充電式電池のリサイクル協力店または公共施設などに設置のリサイクルボックスまでお持ちください。



注意：

- 廃棄するとき以外は絶対にリチウムイオン電池を取り外さないでください。
- リチウムイオン電池を取り出す際には、必ず本体から AC アダプタを取り外した状態で行ってください。また、動作が完全に止まるまで何回か電源を入れ、必ずリチウムイオン電池を放電させてから取り外してください。

リチウムイオン充電電池の取り外し方

- a. コンソールハンドルの下部にある、コンソール底面の電池収納部カバーを開けます
※電池収納部カバーを開ける際にはプラスドライバーが必要です。
- b. 充電電池の接続端子を抜き、電池収納部から取り出します。
- c. 電池収納部カバーを閉じます。

9. トラブルシューティング



注：
操作を続ける前に、すべての付属品を点検して欠陥の有無を確認してください。

表 5 - トラブルシューティングガイド

症状	考えられる原因	対処方法
コンソールが作動しない。	電気が供給されていない。	コンセントを点検する。
	AC 電源アダプタ	AC 電源アダプタケーブルがコンソールの AC アダプタ用ソケットに接続されていて、AC 電源アダプタが 100 - 240 V のコンセントに接続されていることを確認する。
	AC 電源アダプタケーブル	ケーブルに欠陥がないか調べる。
状態インジケータが橙色に点灯している。	誤動作	購入した販売店に問い合わせる。
コンソールが始動後すぐに停止する。	空気がゲーメントホースを通過できない。	ホースが曲がったり、ねじれたり、何かに挟まれたりしていないか調べる。
片方のゲーメントは膨張するが、もう片方が膨張しない。	片方のゲーメントに空気が送られていない。	ホースが曲がったり、ねじれたり、何かに挟まれたりしていないか調べる。
コンソールの動作が停止して状態インジケータが橙色に点灯し、警告ビープ音が鳴る。	ゲーメントホースコネクタがゲーメント又はコンソールに正しく接続されていないか、非使用のアウトレット) 空気吹出し口) にブロングプラグが挿入されていない。	空気関連のすべての接続部を点検し、再度挿入する。片側のみをマッサージする際は、必ずコンソールに付属のブロングプラグを非使用のアウトレットに挿入して栓をする。どの接続部にも問題がないにもかかわらず問題が持続する場合は、購入した販売店に問い合わせる。
使用者が設定した圧力と無関係に、非常に低い圧力でしかコンソールが動作しない。	ゲーメントの欠陥	ゲーメントを交換し、再度チェックする。
	内部の誤動作	購入した販売店に問い合わせる。
不規則なノイズ	コンソールの振動が表面まで伝わって振動している。	コンソールの 4 つの緩衝器 (ショックアブソーバ) にそれぞれ等しく荷重がかかるように設置されていることを確認する。
	内部の誤動作	購入した販売店に問い合わせる。

10. 保証と連絡先

使い方・お手入れ・修理などは、まずお買い求め先へご相談ください。

日本国内正規販売代理店

会社名：ミューラージャパン株式会社

住所：〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 74-1 大和地所ビル

電話番号：045-651-7800

保証規定

- 本製品の保証期間は以下のとおりです。
 - コンソール：購入日から 1 年間
 - ガーメント：購入日から 1 年間
- 正常な使用状態で故障した場合には、保証期間内に限り該当部品の無償修理または交換を致します。日本国内においてのみ対象になります。This warranty is valid only in Japan.
- 下記の場合は、弊社保証規定より有償となります。
 - 使用者側での輸送、移動時の落下等、お取り扱いが適当でなかったために生じた故障・損傷の場合。
 - 火災・天災・異常電圧等による故障・損傷の場合。
 - 接続されている他の機器に起因して、故障を生じた場合。
 - 当社及び当社が指定するサービス機関外での修理・調整・改造された場合。
 - 取扱説明書に記載の使用方法、及び注意に反するお取り扱いによって生じた故障の場合。
 - 使用中に生じた傷、汚れなどの外観変化。
 - 第三者による部品の増設および交換した場合の故障および損傷。
 - 日本国外での使用で生じた故障の場合。
 - 購入年月日、国内販売店名の記入のない場合。
- 以下の事項は、サービスの適用除外とさせていただきます。
 - 取り扱い説明書に基づかない使用環境、取り扱いによる故障の修理・修復
 - 取り扱い上のはなはだしい不注意、誤用に起因する障害の修理・修復。
 - 当社および当社指定修理業者以外の者が対象製品に加えた改造、修理、分解に起因する障害の修理・修復。
 - 火災、天災地変その他、当社の責によらざる事由に起因する障害の修理・修復。
 - 当社指定以外の製品、付属品の不良等に起因する障害の修理・修復。
 - 対象製品の移動および撤去作業。
 - 対象製品の日常の清掃、点検作業。
 - 対象製品のオーバーホール、改造作業。
- 下記事項を免責させていただきます。
 - 修理交換部品代は、当該製品の標準価格又は購入価格を限度とし、それを超えた金額についてはお客様のご負担となります。
 - やむをえない事情により当該部品が修理不可能な場合は同等品で代替交換させていただく場合があります。

リカバリーケア リヴァイブの耐用年数

リカバリーケア リヴァイブコンソールの耐用年数は5年です。

製造業者

Mego Afek AC Ltd.
メゴ アフェック（イスラエル）

住所：Kibbutz Afek, 3004200, ISRAEL

外国特例認証取得者

Mueller Sports Medicine Inc.
ミュラースポーツメディスンインク（アメリカ）

住所：One Quench Drive Prairie du Sac, WI 53578

電話番号：+1-608-643-8530



選任製造販売業者

マイクレン・ヘルスケア株式会社

住所：〒162-0841 東京都新宿区払方町 19-1

電話番号：03-3513-6641

愛情点検のお願い

長年ご使用のリカバリーケア リヴァイブの点検をぜひ！		
 <p>愛情点検</p>	<p><u>このようなことはありませんか？</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源ケーブルやプラグが異常に熱い。 • 作動中に異常な音、振動がする。 • 本体が変形していたり、こげくさいにおいがする。 • 電源コードに破れがある。 	<p>お願い</p> <p>故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にご相談ください。</p>
		

11. EMC に関する製造者による宣言

ホームヘルスケア環境に関する電磁両立性（EMC）声明

リカバリーケア リヴァイブシステムは、国際規格 IEC 60601-1-2「基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項—副通則：電磁両立性—要求事項及び試験」に従って評価が行われています。

本医用電気機器には EMC に関する特別な予防措置が必要であり、添付文書内に記載された EMC に関する情報に従って設置し、使用する必要があります。

移動式及び携帯式 RF 通信機器は、本医用電気機器に影響を及ぼす可能性があります。以下に示す移動式及び携帯式 RF 通信機器とリカバリーケア リヴァイブシステムとの推奨分離距離を参照してください。

家庭用無線ネットワーク装置、携帯電話、コードレス電話などの無線通信機器及びその基地局、トランスシーバは、機器に影響を及ぼす可能性があるため、本システムからの距離（d）を 3.3 m 以上に保ってください。

送信機の定格最大出力（W）	送信機の周波数に応じた推奨分離距離*（m）
0.01	0.23
0.1	0.73
1	2.3
10	7.3
100	23

*注：800 MHz～2.5 GHz で算出した距離




注意：

- 本品の近くで携帯電話など、電磁界を発生させる装置を使用しないでください。本品の誤動作につながるおそれがあります。
- 本品を他の機器の近くで使用したり、他の機器と積み重ねて使用したりすることは避けてください。このような使用が必要な場合は、本品を観察して当該使用形態において正常に動作することを確認する必要があります。

リカバリーケアリヴァイブ（以下、モデル 760R） - 電磁エミッション - 製造者による宣言		
モデル 760R は、以下に規定される電磁環境での使用が想定されている。必ず規定の動作環境で使用する こと。		
エミッション試験	適合性	電磁環境 - 指針
RF エミッション CISPR 11	Group 1	モデル 760R は、内部機能にのみ RF エネルギーを使用する。そのため、RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に何らかの干渉が生じる可能性は低い。 モデル 760R は、住宅及び住居に使用する目的の建物に給電する公共の低電圧電力システムに直接接続したものを含むすべての施設での使用に適している。
RF エミッション CISPR 11	Class B	
高調波エミッション IEC 61000-3-2	適合	
電圧変動／フリッカエ ミッション IEC 61000-3-3	適合	

モデル 760R - 電磁イミュニティ - 製造者による宣言			
モデル 760R は、以下に規定される電磁環境での使用が想定されている。必ず規定の動作環境で使用する こと。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レ ベル	適合性レベル	電磁環境 - 指針
静電気放電（ESD） IEC 61000-4-2	±6 kV 接触 ±8 kV 空気中	適合	電源の品質は、標準的な家庭用又は病院環境と同じであること。
電氣的ファストトランジ ェント／バースト IEC 61000-4-4	±2 kV 電源ライン	適合	
サージ IEC 61000-4-5	±1 kV ライン - ラ イン間	適合	電源の品質は、標準的な家庭用又は病院環境と同じであること。
電源入力ラインにおける 電圧ディップ、短時間停 電及び電圧変動 IEC 61000-4-11	U_T の >95%ディ ップ、0.5 サイクル間 U_T の 60%ディ ップ、5 サイクル間 U_T の 30%ディ ップ、25 サイクル間 U_T の >95%ディ ップ、5 サイクル間	適合	電源の品質は、標準的な家庭用又は病院環境と同じであること。
電源周波数（50/60 Hz） 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	適合	電源周波数磁界は、標準的な家庭用又は病院環境における一般的な場所と同レベルの特性を有すること。
注： U_T は、試験レベルの適用前の交流電源電圧である。			

モデル 760R - 電磁イミュニティ - 製造者による宣言			
<p>モデル 760R は、以下に規定される電磁環境での使用が想定されている。必ず規定の動作環境で使用する。</p>			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境 - 指針
<p>伝導 RF IEC 61000-4-6</p> <p>放射 RF IEC 61000-4-3</p>	<p>3 Vrms 150 kHz～80 MHz</p> <p>3 V/m 80 MHz～2.5 GHz</p>	<p>3 Vrms</p> <p>3 V/m</p>	<p>移動式及び携帯式 RF 通信機器は、ケーブルを含めモデル 760R のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に適用される式で算出された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。</p> <p>推奨分離距離</p> $d = 1.2 \sqrt{P}$ <p>$d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz～800 MHz</p> <p>$d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz～2.5 GHz</p> <p>ここで、P は送信機製造者による送信機の最大定格出力電力（単位：W）であり、d は推奨分離距離（単位：m）である。</p> <p>現場電磁調査^aで測定された固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲における適合レベル未満であること^b。</p> <p>以下の記号が付けられた機器の近傍では干渉が生じる可能性がある。</p> 
<p>注 1：80 MHz 及び 800 MHz では、高い方の周波数範囲の分離距離が適用される。</p> <p>注 2：これらのガイドラインはすべての状況に適用するものではない。電磁波の伝播は、建築物、物体、人体による吸収及び反射に影響される。</p> <p>a 無線電話（携帯電話／コードレス電話）及び陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM のラジオ放送局、テレビ放送局などの固定送信機からの電界強度を理論的に正確に予測することはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するため、現場電磁調査の実施を検討すること。モデル 760R を使用する場所の電界強度が上記の適用 RF 適合レベルを超える場合は、モデル 760R を観察して正常に動作することを確認すること。動作に異常が認められた場合は、モデル 760R の向きや位置を変更するなど、追加措置が必要となる場合がある。</p> <p>b 周波数範囲 150 kHz～80 MHz では、電界強度を 3 V/m 未満とすること。</p>			

移動式及び携帯式通信機器とモデル 760R との推奨分離距離			
<p>モデル 760R は、放射 RF 妨害が制御されている電磁環境での使用が想定されている。モデル 760R の購入者又は使用者は、通信機器の最大出力に応じて下記の移動式及び携帯式 RF 通信機器（送信機）とモデル 760R の最小距離の推奨値を維持することにより、電磁干渉を防止する対策をとることができる。</p>			
送信機の定格最大出力 W	送信機の周波数に応じた推奨分離距離 M		
	150 kHz～80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz～800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz～2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23
<p>上に記載されていない最大出力の定格の送信機については、推奨分離距離 d（単位：m）は送信機の周波数に適用される式を用いて推定できる。ここで、P は製造者による送信機の最大出力定格（単位：W）である。</p> <p>注 1：80 MHz 及び 800 MHz では、高い方の周波数範囲の分離距離が適用される。</p> <p>注 2：これらのガイドラインはすべての状況に適用するものではない。電磁波の伝播は、建築物、物体、人体による吸収及び反射に影響される。</p>			